

常磐文藝

林檎園の女 (二)

星 影 生

私は何んぞなく、彼の女達の事が考いられてならなかつた、空虚な頭の片隅に信ちやんの美しい容姿が書き出された、年増女が「林檎園の若旦那か」と言つた時、彼女はどんな顔をして、どんな衝動を覺わたらう。

勿論彼女達は、私の此處に居る事を知らないらしい。彼女達はどんな話をして居らたらう、かう意識した時は、彼女等に餘程接近して居た心の中で「この機会だ……適當なチャンスが與へたのだ」こんな事がわくもなく私の心を誘つた。

前から私は信ちやんに戀を覺わて居たのだつた、私は其の場に出ようと思つたが、一種の憂鬱さが襲つた。

投稿を歓迎します
文藝其他一般

たの下樹陰、蹲んで、彼女等の行動を専心に見つめて居た。

白い手拭で面を包んで居るので信ちやんの顔は見なかつたけれど、鮮紅な手首や豊満な肉體が私の情思を興奮させた。

「矢張なんだな、敏二さんに戀してゐんだらう」

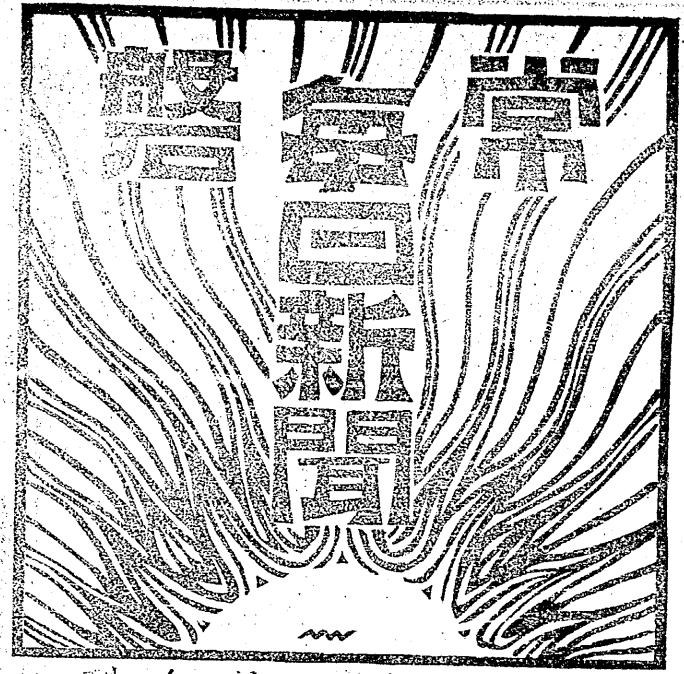
「冗談ぢやないわ……」

信ちやんは面を上げた顔が薄紅に赤なつて居た。

「林檎園の若旦那か」と言つた時、彼女はどんな顔をして居たか、信ちやんの赤襦袢の袖口が箱の中に、出たり入つたりして居る。

寒空に渡り鳥が、高く啼きながら飛んで行くのを見上げた私の眼、軽い微笑が浮いて居た。

(完)



十一月十六日夕刊

定 一部金貳銭 月報
二限リ一ヶ月卅銭

廣告 五號十三字詰
一行五十銭

休 日 祭 大祭
刊 日 祝 日 聖日

印刷 福島縣石城郡平町
田町十六番地
磐城新聞社

發行兼 川崎文治
編輯人 川崎文治
印刷人 川崎文治

發行 福島縣石城郡平町
字長崎町五番地
常磐毎日新聞社

看護婦派出の求めに應ず

平町南町
清野看護婦會
電話三〇七番

毒氣ある身體にて
た困りの御方は
毒退丸の効能を
試みられよ!!!

効能としては梅毒、痔病、胎毒、淋病、消渴、癩癧、質斯等凡て毒氣ある身體に特効あり

石城郡内郷村小島
毒退丸販賣本舖
山下重受堂
其他全國到處
に特約店あり

謹告

今回常磐毎日新聞社經營の爲めいはらき新聞社平支局を退きました。同社在勤中一方ならぬ御配慮を辱ふし、ました大方諸彦に對し厚く御禮申上ます。今後は微力を以て此難事業に身を處し粉骨碎身諸彦の御愛顧に報ゆべき覺悟で御座います。何卒倍舊の御援助を賜り度く懇願致します。右は拜趨御挨拶申上すべきの處創業早々の事にて繁忙裡に没頭して居ります。略儀ながら紙上を以つて謹告致します。

小島 川崎文治

讀書家新刊雜誌回讀

即時御加入あれ

◇時代の潮流に掉さし豊富なる智識を吸収せんとする人は

方法 御希望の新刊雜誌を加入者の御家庭に配達し七日毎に一冊宛を交換し一ヶ月中に五冊を閲覧に供す但冊数を減じ交換日を延ばす事を得

料金 一ヶ月金壹圓とす一冊壹圓以上の雜誌或は倍大號等發行の月に限り多少追徴する事ある可し又月の中途加入者は日割或は冊數割とす

申込 御加入される方は希望雜誌五冊を指定し住所氏名明瞭にハガキへ御記入の上申込次第直ちに配本す

一ヶ月遅れの諸雜誌……平町字長橋町三五
は御希望の依り五六……川崎巡回文庫
割引にて分譲すべし

松島水上養魚場の養殖した
カキ貝の取次店を開始しま
した極めて廉價に販賣しますから御
鼻負の程願ひます

カキフライ一枚廿銭
カフェー。タヒラ
平町紺屋町(住吉屋本店前)

東京 コークス入荷
一俵に付九貫入金一圓七十銭
市内敏速に配達致します
平町月見町
佐藤鐵工所コークス部
電話 三六二番

寄書

貧者の致富論 (上)

中山雅司

昔は人皆金といふものを極めて卑んで居つたがそれは古人に多く常識があつて衣食住に窮せざるが爲であつた夫れ以外に金を溜めるといふのは人格を低めると言ふ譯になる然し其の時代に於てすら實際大志ありし所謂英傑物は皆この金に重きを置いたものである

血腥い元龜天正の頃で向ふ傍が百石に成り一番鎗が千石に當ると言ふつまり生命を資本の稼ぎ人が雪の如

く集つた彼の時代にも群雄を凌ぎ天下を取つた一人者はいづれも金を大切にしておく持て居つたではないか

彼の信長に客分扱を受け秀吉に畏れられて居た家康の如きは最も金を大切にしながら澤山貯め込み高利貸をして遂に天下を取つた男だ

關白秀次が聚樂殿の金庫を大鬧から讓られた後に秀頼が生れた爲の他、萬一の時に備へる覺悟で其の金を出して諸大名に貸し是れを手なづけて居たそれが大鬧の耳に這入たので早速改めと来た、驚いたのは秀次と諸大名で中にも細川忠興

は最も多く借り一文なしに使ひ果し居つたがため背に腹は代へられず家康の處へ泣き込んで自分計りでなく、淺野、福島、蜂須賀等を筆頭に諸大名の分迄も世話をした、勿論世間へは極内々で家康はズバリと金を並べて立替た、此の恩恵は後に物を言つて競争毎に心を傾け家康の味方したと言ふ大なる因縁をなしたのである

即ち家康は今の高利貸と異なつて手數や利子どころではない其の貸した對手の自由と生命とを利息に取つたのでこれが家康の天下第一たる高利貸、所以である

激烈 縣議戰 終末

佐藤氏敗勢を招く 草野氏 去就如何に

石城郡第四區縣議補欠選挙の選挙會は本日午前八時より郡議 堂に於て開會佐瀬郡長會席に着き

立會人の 中野浩忠 木村清治、松崎松治、永山久助、高萩正一、若松美三 諸氏参列の上開票の結果別項の如くであるが澤渡村佐藤庄太郎の如き立候補を宣するに至つた爲め政派候補者の佐藤庄太郎氏と混同せしめざる解決如何になり行くべきかと周囲の興味をそそり注目し

焦點となつた爲め既に開會に先立ち會場には有

荒前平町長に 贈位の御沙汰を請願

會孫に當る玉枝氏から 献身的の功績頗る多し

前平町長相馬藩士故荒至重氏の相續人であつて會孫に當る荒玉枝氏から此行後藤内相宛て、贈位の御沙汰を仰ぎ度き旨

請願書を提出した故人は少壯、折江戸、内田觀齋に師事して數學、天文又蘭學を修め相馬藩より拔擢されて二宮尊徳翁 門人となり「量地之略」及び「測量即計」等の著述を江戸より

常磐片々

四倉町政憲兩派の運動員が懇親會を開くと、

蓋し近來の傑作

反對黨として親の仇ではない颱風一過後は萬事此筆法で行きたいものだ、

前平町長故人荒氏に對する贈位請願は寧ろ町、面目を施すものと云ふべし

正午迄の開票結果に依れば佐藤氏敗勢を招いたらし、

部を擧げて町立小學校 卅一年七、辭任後農桑 親しみ入、餘歳 高齡にて逝いたのである、生前の功績を與へられ殆んど枚擧げ難くないのである因に贈位の請願は孫玉枝氏が未だ幼少である爲め其父、當 警城銀行國庫主任佐々木龍若氏專ら是れが達成、努む。

由りたる 吳越同舟で 盛ん懇親會

四倉の政憲兩派 石城郡四倉町、於ける第四區縣議戰、政憲兩派運動員は昨晩七時から同地柏屋旅館に集合懇親會を催したが席席六名和氣藹々として頗 盛會であつたと

老母殺しの兇漢は 秋刀魚千本を盗んだ外 詐欺や窃盜の餘罪を犯

石城郡四倉町字新町生れ住處不定漁夫窃盜前科三犯菊地幸吉(三〇)が、郡錦村の老婆撲殺を自白した事は昨報、如くであるが被害者老婆は錦村大字仲田雜貨商安島(六五)にて兇行は九月二日午前一時頃演せられたものである、幸吉は此外本年八月、宮城縣鹽釜町物品販賣業某方へ忍入現金卅圓餘及懷中時計、價格十五圓、九月中小名濱町船主川崎源八より三圓、騙取し尙ほ去、三口には茨城縣中磯町根本友重より五圓、同口

校長會議 石城提出事項

縣下各小學校長會議は來る日四口第一小學校に於て

兩候補者の得票

佐藤庄太郎氏 千四百票、草野順平氏 千八百、五、票が疑問、除、確

町村別	佐藤	同疑問	草野	同疑問	其他
町谷	六八	三三	一一	一一	
小川	一一	二〇	一一	一一	
赤川	六五	一一	一一	一一	
好間	〇七	八七	一一	一一	
大野	〇四	三五	一一	一一	
草野	一〇	三五	一一	一一	
大野	一五	二五	一一	一一	
永戸	一一	二二	一一	一一	
永戸	一一	二二	一一	一一	
三阪	六九	一八	一一	一一	
三阪	六九	一八	一一	一一	

農試場近況 着々諸般の設備

石城郡神谷村農試場分場は本年六月竣、後諸般設備中であるが水田は四反歩畑二町歩あり將々は濱三郡湯の嶽、山頂に薄雪積りて寒さが増した

平町配水量 昨年と略同様

平町水道の去月中に於ける配水量は百廿八萬二千九百六方尺であつて昨年と略ぼ同様である

オール平對 磐中野球戰

既報平町に新設されたオール平對警中の野球戰は十七日午後一時から磐中グラウ

開催さるべき筈であるが當日石城郡第三區教育事務協議會より提出する決議及び談話題左、如くである

(決議) 攝政宮殿下御成婚記念に際し卅年以上小學校に在職せる教員を表彰する中△各小學校に會議ある場合出席者には縣から其費用を補助する事△准教員 最高俸給七十圓の最高俸給五十圓の處七十圓、昇給する事△小學校教員にて最良なる者は從來一年一回増俸せるが、是は一回に限らざる事△小學校教員檢定試驗場を各郡にて執行し日數は四日間とする事

(談話題) 十一月十日に發され、國民精神に關する詔書に就き小學校教員は如何に注意すべきか△學級編制、件

草野村に 野戰病院 軍醫團の演習

既報第二師團管下本縣在郷軍醫團の演習は本日午前八時頃四倉驛前に集合統裁官より想定を與へ午前八時五十分四倉驛發、て草野驛下車、同村字御殿附近に於ける野戰病院設定に關する演習を行つた

△出生 平町 人事

△新川町 猪狩兵吉長女ま さ 次女さだ 三女あい

△新川町 中野康平三女敏子

△婚姻

△研町 吉田豊(三二)同西牧(二五)

△死亡

△南町 立花しも (五八)

△白銀町 山崎義明(一七)